

## 三島町<sup>こわぜ</sup>小和瀬遺跡の調査について

福島県文化財センター白河館 吉野 滋夫

### 調査概要

所在地 大沼郡三島町大字桧原字下小和瀬

立地 只見川左岸の標高315mの河岸段丘上

調査理由 2019年、只見川築堤工事に伴う発掘調査

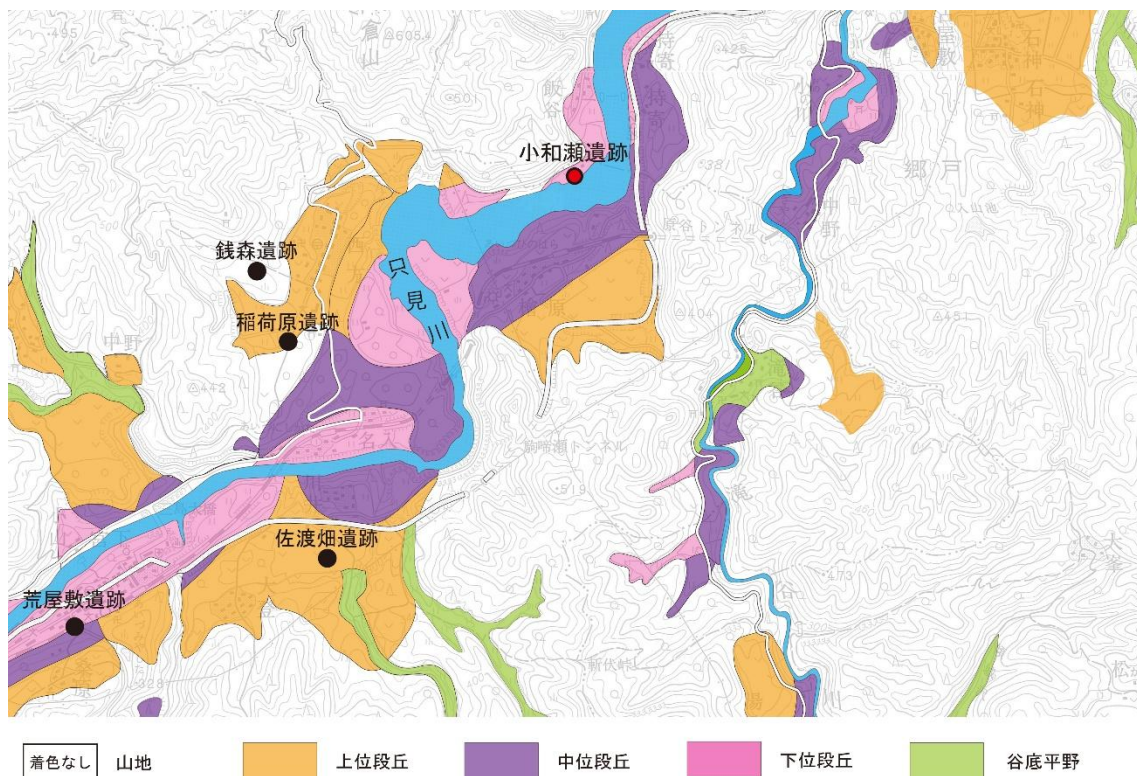
遺構遺物 竪穴住居跡：1軒 掘立柱建物跡：2棟 土器埋設遺構：2基

土坑：8基 焼土遺構：12基

遺物量：土器・土製品・石器・石製品：約200箱

調査成果 ①時期は縄文時代晩期中葉から弥生時代中期中葉に及び、縄文時代晩期末葉を主体とする集落を確認した。

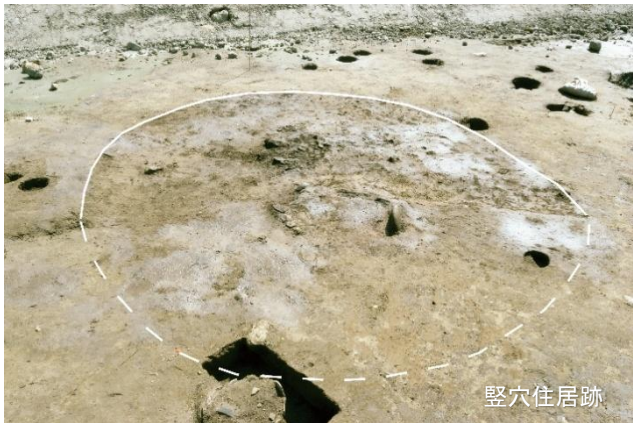
②出土遺物から、新潟・長野・群馬県などとの他地域の交流が窺われる。



周辺遺跡の時期

遺跡名	縄文中期 (約5,400～4,400年前)					縄文後期 (約4,400～3,200年前)					縄文晩期 (約3,200～2,300年前)					約2,300～2,000年前			
	初頭	前葉	中葉	後葉	末葉	初頭	前葉	中葉	後葉	末葉	初頭	前葉	中葉	後葉	末葉	弥生前期		弥生中期	
																前葉	中葉	後葉	
小和瀬遺跡																			
銭森遺跡																			
荒屋敷遺跡																			
佐渡畑遺跡																			
稻荷原遺跡																			

遺跡の時期  
 遺跡で主体となる時期



繩文土器・土製品



浅鉢



鉢



深鉢



高杯



壺



埋設土器（深鉢）



土偶



多頭土製品



弥生土器



高杯



蓋



壺

【メ モ】